



インドの大都市、ムンバイでは人口の実に80%がスラムに住んでいます。「クリエイティブ ハンディクラフト」は、都市スラムに暮らす女性たちの生活自立を支援しているフェアトレードNGO。女性たちは、ここで技術を学び、衣料品の縫製グループを作って国内外へと販売を広げています。

- ・クリエイティブハンディクラフト 概要は → こちら
- · 生産者情報 POP は → こちら

# Creative Handicrafts の活動は、大きく分けて3つ

- 1- Economic Development (経済発展)
- 2- Capacity Building (能力育成)
- 3- Community Develoment (コミュニティ開発)

1番が、シサム工房と関わりが深いフェアトレード商品の開発、生産、流通と、それに伴う技術訓練になります。そして、フェアトレード商品生産以外の重要な活動が、

2番の「能力育成」と3番の「コミュニティ開発」です。

Creative Handicraft の生産現場の外の顔を紹介します!



# □ Capacity Building (能力育成) 女性たちが CH に参加すると・・・?

### ポジティブな思考を鍛える!

経済的自立のため、毎日直面する困難に立ち向かうため、 女性たちは経済的にも、地域社会においても、力をつけていか ねばなりません。そのため、CH は「パーソナリティ開発プログ ラム」ということをやっています。女性たち固有のニーズに対 して、女性たちが前向きになれるよう、

専門家が訓練プログラムを組んでくれるのです。

# ・自分の話をすることで、自分の状況を知る!

CHで働く多くの女性が、自分の働いている環境や働き方など、

今までの生活について公の場で話したりする機会はありませんでした。

それを互いに話すことが、時に大きな学びに繋がることがあるとCHは話しています。

さらに、彼女たちは自分たちが生まれ育った地域のことしか知りませんでした。

そんな女性たちに、今までとは違った生活や働き方があることを CH は教えています。

### ・実用的な文字の読み書きレッスン!

CHでは女性たちの識字能力向上のため、成人向け教育が行われています。CHでの教育プログラムは特別です。

ただの単語の読み書きの勉強なら、女性たちはあまり意欲的ではありません。そのような読み書きは女性たちの日々の 生活において、あまり実用的ではないからです。

識字プログラムは、日常のいろんな問題を解決するための知識とともに行われなければなりません。CHの色んな部署とやりとりや、会計をするなど、日常の様々な問題を解決するため、その知識と共に文字の読み書きを教えています。



### 新しい技術をどんどん磨ける!

女性たちが習得しなければならないスキルや知識に、終わりはありません。

彼女たちは技術訓練センターなどで常に学んでいますが、

商品のデザインや品質へのさらなる要求に常に直面しており、それは女性たちのスキル向上を意味しています。 CHのデザイナー陣は様々な商品を生み出せるよう、女性たちの新たなチャレンジを応援しています。

#### ・その他にも・・・

みんなでお祝いごとをしたり、娯楽のプログラムがあったり、グループミーティングなどを通して、 仲間をつくり、日々の心を癒しています。

# □ Community Development (コミュニティ開発)

# 今、叶の周りのスラムで起こっている大きな変化



↑写真:CHの女性たちが暮らすムンバイ空港近くのスラム

クリエイティブ・ハンディクラフトは、「持続的で自立したコミュニティを形成し、尊厳をもって生活できること」、「貧困層への救済」、「社会的な問題や環境問題にチャレンジし、地域サービスを整備すること」を目的として、以下のような活動を行っています。

### ・子どもたちへの奨学金

スラムに住む多くの親たちの最大の心配は、自分たちの子どもたちが、

貧困のサイクルと社会的排除から抜け出せるかということです。

両親たちは自分たちに教育がないため、自分の子どもも教育を受けることができないのではないかと、

不安なのです。この不安を払拭するため、CH はスペインの NGO と共同で、

子供たちの教育費用を給付する活動を行っています。

## ・働くお母さんたちを応援!

CHで働く多くの女性たちは、まだ小さい子どもを持つ 母親たちです。今までは生産現場に子どもを連れてきて おり、生産スピードの大きな妨げになると共に、

子どもたちの健全な育成をも妨げていました。

そこで、CHはまず子どもたちの保育施設をつくりました。 親たちはほんの少額で、小さい子供たちをここに通わせ、 栄養のある食事を摂らせることができます。

小学校に通っている子どもたちも放課後にここへ来て、 宿題を教えてもらうことができます。



### ・子どもたちを学校に通わせる習慣が生まれる!

CHに隣接するスラムや部族集落では、多くの子どもたちが学校に通っていませんでした。 その最大の原因は、親が子どもを学校に行かせる習慣がなく、重要性を理解していないこと。 その調査内容を知った CH は早速、スラムや集落に 10 棟の幼稚園を設置しました。 子どもたちを学校に行かせる習慣をつけさせ、学校の重要性を親たちに教えたのです。 幼稚園の先生たちは、1~2年後に子どもが必ず公立の小学校に通えるようアシストします。 これがスラムに、今までにない、経済的・社会的・文化的な変化を生み出す第一歩と CH は考えています。



スラムの中でも最も貧しい子どもや、物乞いの子どもた ちの特別なニーズに応える施設もあります。

子どもたちはここでまず個性をはぐくみ、1 日 2 回栄養のある食事を摂り、常駐している先生に勉強を教えてもらうことで、だんだん学校に通えるようになるのです。

### · 貯金&マイクロクレジット(少額無担保融資)の習慣が生まれる!

スラムのコミュニティに住む貧しい人々は、貯金をする余裕がなく、そもそも習慣づけられていませんでした。 一方で、不当に高い金利でお金を借りることは、仕方のないこととして認識されています。

今までローン返済ができず、多くの女性が苦しめられてきました。

そこで、CHでは女性が安心で確実な方法で将来への投資ができるよう、

マイクロクレジット・グループを作り、無理のない少額融資が受けられる仕組みをつくっています。

### ・健康意識プログラム

公的機関のサービスが行き届いていないため、健康は貧しい層にとって大きな問題です。 CH はヘルスケアのシステムを作るほどのことはまだできませんが、特に女性に必要な健康意識を高め、 予防プログラムを行うなど、できるところから始めています。

### 頼れるソーシャルワーカー

CHには正規で雇われているソーシャル・ワーカーがいます。彼女たちがスラムの地域を頻繁に訪問し、女性たちの相談窓口となって、

悩みなどを受け入れています。

例えば、家族が病気になったとき、

ちょっとしたトラブルが起きたとき、どうしたらいいか、 解決策を一緒になって考えてくれる人が 近くにいるのです。

